



人と環境にやさしいトランジットモデル都市をめざして RACDA

第 165 号

2017 / 6

スマホで

乗ろう電車・バス

■最近のスマホは一昔前のスーパーコンピューター以上だとも言われる。電車バスに乗るには地図と時刻表がなければ、知らないところではなかなか利用できなかったが、スマホの性能が上がってグーグルマップ(衛星画像のグーグルアースも表示可能)も見れて利用できるようになった。

■今まで電車バスの乗換検索ソフトは有料で提供されていたが、多くの場合は駅やバス停の名前が分らなければ検索は容易ではなかった。特にバスルートは情報提供されていない場合も多く、つい最近まで岡山のバス情報は、高速バス以外は入っていなかった。ラクダでは瀬戸内国際芸術祭に向けて、電車・バス・フェリーの接続時刻表を製作して配布してきたが、そろそろスマホで全部検索できるのではないかと期待して待っていた。

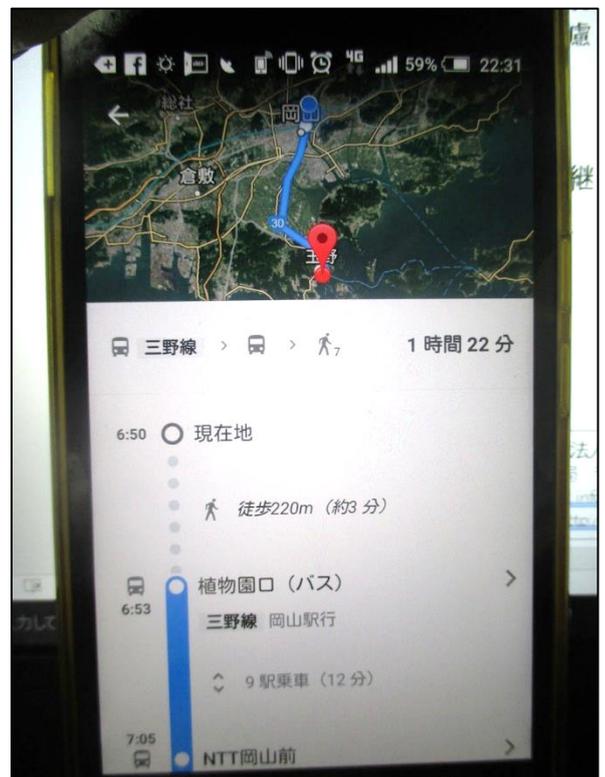
★グーグルマップで電車バスに乗る

■ところがこの1年ほどの間に、岡山のバス会社のダイヤがグーグルマップに提供され、今いる所から目的地までの、電車・バス・徒歩を組み合わせて行く方法が検索できるようになった。(位置情報の送信を許可する必要がある)こうなるとバス停名がわからなくても、位置情報もしくは目的地の大体の地名を入力するだけで、リアルタイムの乗り継ぎ時刻表を得ることが出来る。

■グーグルマップでの岡山電車バス乗り継ぎ検索

1. グーグルマップを開く
2. 現在自分のいるところを表示させる
3. 出発地・目的地、自宅とかの住所、公共施設名(岡山市役所とか天満屋とか)等を打ち込んでみる
4. 電車バスマークをポチン(自動車、電車・バス、徒歩を選択)
- 5.あとは検索ボタンを押すだけ
 - 出発時間を変更すれば、いつの情報でも得られる
 - 利用交通手段選択、電車だけバスだけでも選択可能
 - ルート選択、最適ルート・乗り換え少ない・徒歩距離短いなど選択可能

■あーら不思議、電車やバスを乗り継いで行って、ルートも地図に出てくる。自宅や勤務先など住所登録しておく、基本がマップなので、最寄りのバス停などを自動検索してくれる。最寄りのバス停から、何時何分までお茶飲んで出かければいいのかもわかる。カーナビ機能もあるので、スマホを持ったまま乗ると、現在



NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502

E-mail:info@racda-okayama.org

URL:http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索



地の地図や衛星画像を見せてくれる。周辺のショッピング情報や主な建物情報も出る。昨日確認したら、宇野バスではバスの遅れも赤い文字で表示される。

■皆さん、まずはスマホ検索を色々使い始めて欲しい

しかしスマホもまだまだ発展途上、搭載されたソフトも発展途上だから最適な結果が出るとは限らない。ぼやっとしてたらすぐに時間は来る。トイレの時間とか考慮して余裕を持って移動したい。またバス停の位置なんかがいマイチはっきりしなくて、道路の反対側だったり。目の前にバス停が見えているけれど、信号を待っているうちにバスが出て行くのが見えたりする。まだまだソフトが不完全で、最適なルートを検索してはくれないようだ。やっぱり乗り継ぎの拠点の地図は、絶対に欲しいよね。結局まだまだスマホの地図では全部はわからないとも思う。この一年日本全国で色々使ってみたが、その場所の看板とか表示、サインが充実していないとスマホも使い辛い事も分ってきた。なお2017年倉敷市版のバスマップでは、主な乗り継ぎ拠点の詳細なバス停地図が載ってて、親切だね。

■スマホは便利だけれど、まだまだ進歩するのかなあ

みんながスマホを持つようになって、ようやくソフト開発も進んできた。だけどバス事業者から出てくるデータがまちまちな書式で、情報・地図を作る方も苦労しているらしい。そこで経路検索ソフト屋さん、国土交通省なんかでガイドラインを作ってる最中だ。ラクダの仲間の「全国バスマップサミット実行委員会」のメンバーが大活躍している。行政側も、地域の基本インフラとして、電車・バス情報を把握するべきだが、現行の制度では、電車バスのダイヤ改正は、市町村に報告するようになってないようだ。

★バスロケーションシステムを使う（バスロケ）

■バスは渋滞に巻き込まれるといつ来るかわからない。あらかじめタクシーに乗ったとたんに20分も遅れたバスが来たりする。ところが最近ではバスにGPS端末を積んで、バス位置が分るようになった。実は1998年にラクダが最初にバスマップを作ったとき、ホームページを作った岡山国道事務所ではバス位置検索が出来るシステムを作った。しかし位置は分っても全部のバス停に表示器を作ることはコスト面で出来なかった。その後各地でバス位置のわかるバスロケがバス停に導入され、岡山でも宇野バスは早くから一部のバス停に表示器を設置していた。

■宇野バスは昨年3月、日本全体でも先進的なバスロケ「バスまだ?」スマホ版を公開した。一般的な時刻表タイプ、地図タイプ、一覧タイプがあり、さらにマニアタイプの存在は、「全国のバスマニアが涙!」と報道され衝撃を与えた。安価なシステムで、最近ではグーグルマップに反映されている。この世界は日進月歩だ。同システムは今年になって下電バスにも導入された。

■岡電（電車バス）・両備バスは今年3月バスロケの「Bus-Vision」を公開した。停留所名がわかるなら、様々な検索が可能だ。MOMOやKUROの位置検索もできる。

■岡山駅に岡山市が設置していた「えきバス時刻表」がリニューアルされ、宇野バスの「バスまだ?」や岡電・両備の「Bus-Vision」のバス位置情報を利用して、バスの遅れがわかるようになった。もちろんスマホでも見る事が出来る。

■路線バスの情報は岡電、両備、宇野、下電、中鉄、備北、めぐりんの7社のホームページを参考にするといい。スマホの性能が上がって、パソコン版の情報も見られるので、時刻表や運賃も詳しく調べることが出来る。ただ各社の表示形式がまちまちで、わかりにくいかもしれない。また岡山駅からのバスは「晴れバスナビ」も便利だ。

■全国に旅をする場合は、飛行機を使うこともあるだろうが、グーグルマップでは飛行機は検索できない。「乗換案内ジョルダン」や「駅すぱあと」、「駅探」、「Yahoo!乗換案内」、「NAVITIME」などたくさんのアプリが存在する。

★第22回岡山路面電車まつり

6月10日(土)10時~16時 岡山駅前広場、東山電車車庫
テーマ「電車バス乗り継ぎ拠点を便利に、快適に」

「スマホで乗ろう、電車バス」のテーマ寸劇を発表!!!

